

2019 年度「国際交流支援室」事業報告

安保 英勇

先端教育研究実践センター副センター長

国際交流支援室 室長

1. 国際交流支援室

本年度のスタッフは、先端教育研究実践センター長（野口和人教授）、国際交流支援室長（安保英勇准教授）、室員（劉靖准教授、南紅玉助教、尹得霞助教）である。

2. 今年度の活動（2020 年 2 月現在）

(1) 会議

- ① 国際交流支援室会議
- ② 文系四研究科共通国際交流オアシス事業実施委員会（全体会議 1 回、メール会議数回;南助教）
- ③ 全学国際交流委員会（7 回/年;安保准教授）

(2) 部局間学術交流協定および大学間学術交流協定の維持管理

本年度は、1 件の部局間学術交流協定（東北師範大学教育学部）の更新および新規 2 件の部局間学術交流協定の締結（3 月に締結予定）を進めている。また、昨年度に引き続き国際交流実績に基づき学術交流協定の運用について見直し作業を行なった。

(3) 学術交流協定に基づく交換留学生の派遣と受入れ

杭州師範大学教育学院 2 名（受け入れ教員：島教授、劉准教授、期間：2020 年 4 月～2021 年 3 月）

(4) 外国人留学生の受入れと支援

- ① 旧教育情報学研究部・教育部の 2015 年 4 月から開始した留学生の受入れ及び学生生活支援に特化した業務の主な内容は、1) 研究生希望者の学力・研究能力の調査、2) 日本語会話能力等の面談（インターネットを活用した映像面接）、3) 研究計画書の作成に対する助言、4) 希望する教員の研究分野等の説明、5) 当該教員への報告・相談、6) 入学後の相談・サポート等であり、留学生に関わる全ての業務窓口として対応してきた。本業務は 2018 年 4 月に教育学研究科との統合後も継続して実施している。

今年度では、教育情報アセスメントコース、教育政策科学コース、グローバル共

生教育論コース、生涯教育科学コースの研究生入学志願者の86名を対象に、研究生受け入れの支援と入学調査を行った。今後留学生受け入れ体制を整え、マニュアル化を目指している。

- ② 外国人留学生の学習研究生活への適応のために、2014年より外部ボランティアによる日本語学習支援（週1回金曜日）を実施してきた。2019年度は、計23回実施し、年間を通し延べ123人が参加した。その際の運営調整を担当する他、留学生に対する研究相談、生活支援等についてもセンターの助教が中心となり対応した。今後も交流支援室の重要な留学生支援事業として継続する。

(5) 国際シンポジウム、講演会

①公開講義:Global Education Reform Movement & International Organizations

講師：Dr. Will Brehm 早稲田大学高等研究所・助教

Dr. 芦田明美 早稲田大学大学院アジア太平洋研究科・講師

期日 2019年10月17日

本講義では、グローバル社会及びアジア太平洋地域におけるグローバル教育改革運動への理解のため、講師の Will Brehm 先生が「人的資源」理論の発展およびそのラテンアメリカ諸国の教育市場化への影響に関する歴史を語った。一方、講師の芦田先生は UENSCO Bangkok 事務所での仕事経験からアジア太平洋における教員教育改革を紹介した。

②公開講義：Education in Taiwan and Present Issues

講師：Dr. Robin Chen 台湾政治大学教育学院・教授

期日：2019年10月25日

本講義では、グローバル社会及びアジア太平洋地域におけるグローバル教育改革運動への理解のため、講師の Robin Chen 先生が近年の台湾における教育改革の変遷を紹介し、台湾における教員教育の重要性およびその課題について紹介した。

③公開講義：Publications as Post-graduate Students and the Comparative Education Field

講師：Dr. Jae Park 香港教育大学・助教／香港比較教育学会会長

期日：2019年11月21日

本講義では、大学院生を対象にし、講師の Park 先生が自分の経験を共有しながら学術投稿論文の書き方及び投稿の仕方などの Know-how を紹介した。

④国際シンポジウム :Engagement in Higher Education for Sustainable Development

Goals: Experiences of Universities in East Asia

基調講演講師: 北村友人 東京大学大学院教育学研究科・准教授
講演者: 鐘周 (ZHONG Zhou) 清華大学教育研究院・准教授
魯璽 (LU Xi) 清華大学環境学部・准教授
劉新 (LIU Xin) 清華大学美術学院・教授
朱志勇 (ZHU Zhiyong) 北京師範大学教育学部・教授
YOO Sung-Sang ソウル国立大学教育学部・教授
PARK Jae Hyung 香港教育大学・助教授
米澤彰純 東北大学国際戦略室
渡部由紀 東北大学・Global Learning Center
後藤武俊 東北大学大学院教育学研究科
三村悟 JICA 東北事務所

期日: 2019 年 11 月 22 日

本国際シンポジウムは東アジア地域における持続可能な社会発展にエンゲージできる人材の育成の取組みを着目し、各国の大学はどのように教育活動を取り込んで展開しているか、またどのような課題を直面しているのかを明らかにすることを目的としたものである。東アジア各大学からの研究者は各大学の持続可能な開発のための教育活動や取組みを紹介した上で、現在、各大学が直面している課題なども共有し、SDGs 時代の高等教育の在り方について議論を行った。学内外 68 人が本国際シンポジウムに参加した。

⑤特別講演会: 学術研究へのエンゲージメント (Research Engagement: From Personal Motivations to Academic Contributions)

講演者: Dr. Claes von Hofsten, Uppsala University
Dr. Kerstin Rosander, Uppsala University

期日: 2019 年 12 月 7 日

学術研究のエンゲージメントについて、Uppsala University より 2 名の研究者をお招きし、シンポジウムを開催した。学内外 30 人が来場した。

⑥国際シンポジウム: 主体的な「学び」へのエンゲージメント: 図書館・ラーニングコモンズ・スタディーツアーを「場」として (Subjective Engagement in Learning: Situated in Libraries, Learning-Commons, and Study-Tours)

講演者: Prof. John Augeri, Sophia University & Il-de-France Digital University
Prof. Shoei Yoshue, Morioka University
Prof. Timothy Phelan, Miyagi University

期日：2019年12月21日

主体的な「学び」へのエンゲージメントについて、著名な3名の研究者をお招きし、図書館・ラーニングコモンズ・スタディーツアーを「学び場」として理解するため、シンポジウムを開催した。学内外31人が本国際シンポジウムに参加した。

⑦ 科研ワークショップ：Understanding School-to-School Collaboration in Diverse Policy Contexts

発表者：Dr. Paul Wilfred Armstrong, University of Manchester

Dr. Kaori Suetomi, Nihon University

Dr. Xiaomei Fan, Chengdu University

Dr. Yuanyuan Huang, Chengdu University

Mr. Jiangyong Xu, Qingyang District, Chengdu

Dr. Ailing Zhuang, Chengdu University

Dr. Yan Zhang, Chengdu University

期日：2020年1月21日

本ワークショップでは、近年各国で行われている「学校間連携」による教育の質の改善の教育改革を中心テーマとし、イギリス、中国および日本の事例紹介を通して、「学校間連携」の意味および改革の多様性を明らかにした。

⑧ 公開講義：Questing for Sustainable Development in Higher Education: The Role of Liberal Arts Education in Asia

講師：Ka Ho Mok 嶺南大学副学長・教授

期日：2020年1月31日

本講義には、SDGs時代における高等教育の在り方を紹介した上で、香港嶺南大学の事例を通じて、SDGs時代における高等教育に関する Liberal Arts Education の役割および可能性について分析し、その課題を明らかにした。

(6) その他

① ユネスコバンコク事務所との包括的な学術・学生交流協定に関する交渉

2019年度末にユネスコバンコク事務所との包括的な学術・学生交流協定の締結を目指し、現在同事務所との交渉が行っている。共同研究をはじめ、アジア太平洋地域における持続可能な発展のための教育の在り方に関する国際会議と講演会の開催や大学院生のユネスコバンコク事務所でのインターンシップ受入などの様々な形の交流が期待される。

②研究協力

日本国際交流基金の依頼を受け、劉靖准教授が、2020 年 1 月 20 日～2 月 14 日、中国 21 世紀教育研究院の黄勝利先生に帯同し、日本におけるへき地小規模学校の取組みや課題について北海道、長野県、愛知県、宮城県で現地調査を行った。